

雪に負けない地域づくり

札幌市では、今年4月に除排雪のさまざまな課題の克服を目指す「雪に負けないサッポロづくり本部」を設置し、雪対策に取り組んでいます。今月号では、その一つである「地域と創る冬みち事業」の厚別区の取り組みをご紹介します。

特集



地域と創る冬みち事業【厚別区は11地区で雪対策市民懇談会を実施中】

● 事業の狙い

限られた除雪予算でもっと市民に満足してもらえる除雪を実現



実現するために

地域の除雪課題を知り住民の皆さんと一緒に除雪の工夫について知恵を出し合いさまざまな課題を克服

● 地域での意見交換会の開催

- ①札幌市の除排雪の実態を知ってもらう
- ②地域の除雪課題を洗い出す

除雪を知ることが大切!



地域の意見交換会

予算の範囲内で住民の皆さんが暮らしやすくなる除雪の工夫を考え、**できることから**

試してみる

詳しくは、左ページで紹介する開催地区の取り組み

昨年度の雪対策モデル地区

<実施地区>
第二桜台町内会

概要

除雪作業の変更

- ・除雪出動基準の変更 (降雪量10センチ→15センチ)
- ・生活道路の排雪の強化

三者※の協力による取り組み

- ・ルールを決めて公園を雪置き場に利用
- ・路上駐車対策
- ・合同パトロール
- ・除雪モニター

地域の声

◆モデル地区の良かった点

除雪の説明会があるなど、事前に行政や除雪業者と話し合いができたのは意味が大きい。また、生活道路の交差点の排雪が強化されたのも良かった。

◆モデル地区の課題点

説明会などに意外と住民の参加が少ない。地域の協力が不可欠なので、取り組みをもっと知ってもらう工夫が必要。

◆除雪モニターとして地域を見て

除雪業者は、要望に素早く対応するなどよくやっている。モニターをして感じたのは、住民の除雪マナーの重要性。せっかく交差点に排雪が入っても、近隣住民が自宅周辺の雪を捨てており、地域全体のことを考えていない。

◆最後に、雪に負けない地域づくりで大切なことは

札幌は雪がたくさん降る。だからこそみんなでアイデアを出し合い、協力して快適に暮らせる仕組みを作るのが大切。行政には、今後も住民の声にしっかり耳を傾けてほしい。そこから地域の実情にあった除雪が見えてくると思う。

お二人に話してもらいました



第二桜台町内会
あべ よしあき 会長／59歳(左)
阿部 芳昭
ひらの としあき 副会長／64歳(右)
平野 利秋

厚別区では、昨年度唯一の雪対策モデル地区の町内会。阿部会長は総括を、平野副会長は除雪モニターとなり住民の要望などの窓口、地域のパトロールなどを担当した。

※地域住民・行政・除雪業者

